神戸市感染症発生動向調査週報

平成29年6月20日 作成

ヘルパンギーナ

流行性耳下腺炎

神戸市感染症情報センター

48 報告定点数 ヶ所

第 24週 平成29年6月12日 ~ 平成29年6月18日

| <u>インフルエンザ</u> | | | 設置足 | と 点数 | | 48 | ヶ所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|----|---|-----|------|---|----|----|----|---|---|--------|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 疾病名称 | 東灘 | 灘 | 中央 | 兵庫 | 北 | 長田 | 須磨 | 垂水 | 西 | 計 | ~6ヶ月 ~ | ・12ヶ月 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 | ~14歳 | ~19歳 | ~29歳 | ~39歳 | ~49歳 | ~59歳 | ~69歳 | ~79歳 | 80歳~ |
| インフルエンザ | | 1 | | | | | | 2 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 1 | | |

報告定点数 31 ヶ所 設置定点数 小児科 31 ヶ所 計 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 東灘 須磨 ~14歳 ~19歳 20歳~ 中央 兵庫 北 長田 西 疾病名称 灘 垂水 RSウイルス感染症 3 3 3 10 2 2 2 咽頭結膜熱 1 25 27 83 6 12 12 11 11 12 8 8 8 10 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 25 29 76 32 13 32 29 20 16 16 12 19 感染性胃腸炎 10 5 32 13 37 241 13 31 9 水痘 13 13 7 22 40 12 42 26 12 6 10 手足口病 111 11 伝染性紅斑 1 突発性発疹 3 3 13 2 6 4 百日咳

21

11

5

7

3

今週、腸管出血性大腸菌感染症 の届出が4例報告されました。

この疾患は、感染力が強く、少 量の菌で感染します。主な感染経 |路は、食品からの経口感染で、牛 などの家畜の糞便中にみられるこ |の菌に汚染された食肉から、手指 等を介して、あらゆる食品が原因 となる可能性があります。喫食2 |日~十数日後に腹痛、下痢(血便 を含む)などの症状があり、重症 化による溶血性尿毒症(HUS)や 脳症の併発による死亡例も報告さ |れています。また、これらの患者 や無症状保菌者の便からの二次感 染が起こることもあり、家族内で の感染例も報告されています。

感染を予防するには、調理中や 食事前、排便後に十分に手洗いを して、食品は、中心部が75℃1分 以上になるまで十分に加熱してか ら喫食しましょう。

腸管出血性大腸菌について|神戸市

報告定点数 10 ヶ所

ヶ所 眼科 設置定点数 10

| 疾病名称 | 東灘 | 灘 | 中央 | 兵庫 | 北 | 長田 | 須磨 | 垂水 | 西 | 計 | ~6ヶ月 | ~12ヶ月 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 | ~14歳 | ~19歳 | ~29歳 | ~39歳 | ~49歳 | ~59歳 | ~69歳 | 70歳~ |
|----------|----|---|----|----|---|----|----|----|---|---|------|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 急性出血性結膜炎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 流行性角結膜炎 | 1 | 1 | | | | | | | | 2 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | |

2

6

6

(定点機関から報告されたその他の感染症情報)

東灘区〇ノロウイルス感染症4例:1歳 男女

〇ロタウイルス感染症1例:3歳 男

○アデノウイルス感染症2例:1歳 男女

灘 区〇咽頭結膜熱および溶血性レンサ球菌

(混合感染)1例:3歳 女

中央区〇アデノウイルス感染症1例:4歳 男

北 区〇ノロウイルス感染症1例:2歳 男

垂水区〇細菌性腸炎(カンピロバクター)2例:年齢性別不明

〇細菌性腸炎(病原性大腸菌O18およびカンピロバクター)

(混合感染)1例:年齡性別不明 西 区〇アデノウイルス感染症1例:3歳 女 【市内の感染症の状況】

手足口病の定点あたりの患者数が3.6人となり、7週連続で増加しています。

2

2

2

2

(第23週:2.3人、第22週:2.2人、第21週:1.5人)

【食中毒警報・注意報のお知らせ】

今年の食中毒警報・注意報のお知らせが平成29年6月20日より始まっております。

警報・注意報の発令状況は、平成29年9月30日まで、テレフォンサービス(332-0147 ミミニオイシーナ) でいつでも確認できます。

警報・注意報を参考に、食中毒を防ぎましょう。

今年もお知らせします 食中毒警報・注意報 | 神戸市

「お知らせ」バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

_ 神戸市 発生動向 〔検索〕

「ILI情報センター」ホームページを開設しています。詳細はこちらをクリック

全数把握対象感染症発生状況

(二**類感染症 結核**) 結核届出患者数は16人(うち潜在性結核感染症3人)です。

| 4 do 1 - 1 - 1 - 1 - 4 - 4 - 1 - 1 - 1 - 1 - | | |
|--|---------------------|---|
| 全数把握対象感染症発生状況 | (三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症) |) |

| 工 奴 16 1年 / 1 : | <u> 多巡未延元</u> 3 | _1/\ <i>n</i> _ | (一块心木) | <u> </u> | 工八吻 图 心未? | <u>E</u> / | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|------------|------------|------------------|------------|----------------------|------------------|---------------|
| 性別 | 年齢 | 発病年月日 | 初診年月日 | 診断年月日 | 菌種 | 診断方法(検査法) | 症状 | 推定感染原因 | 備考 |
| 女 | 5~9歳 | 2017年5月31日 | 2017年6月10日 | 2017年6月14日 | 026 (VT1) | 便培養法 | 嘔吐 | 不明 | 第23週報告の 家族 |
| 性別 | 年齢 | 発病年月日 | 初診年月日 | 診断年月日 | 菌種 | 診断方法(検査法) | 症状 | 推定感染原因 | 備考 |
| 女 | 40代 | 2017年6月10日 | 2017年6月11日 | 2017年6月14日 | 026 (VT1) | 便培養法 | 腹痛 | 不明 | 第23週報告の 家族 |
| 性別 | 年齢 | 発病年月日 | 初診年月日 | 診断年月日 | 菌種 | 診断方法(検査法) | 症状 | 推定感染原因 | 備考 |
| 女 | 60代 | 2017年6月10日 | 2017年6月10日 | 2017年6月14日 | 0157 (VT1VT2) | 便培養法 | 腹痛 水様性下痢 血便 | 不明 | |
| 性別 | 年齢 | 発病年月日 | 初診年月日 | 診断年月日 | 菌種 | 診断方法(検査法) | 症状 | 推定感染原因 | 備考 |
| 女 | 20代 | 2017年6月4日 | 2017年6月10日 | 2017年6月13日 | 0157 (VT1VT2) | 便培養法 | 腹痛 水様性下痢 血便、発熱 | 経口感染 (焼肉喫食あり) | |

全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 デング熱)

| | | | 7 | _ , , , ,,,,, | | | | | |
|----|-----|------------|------------|---------------|------|-------------------------------|----------------------------|--------|---------------|
| 性別 | 年齢 | 発病年月日 | 初診年月日 | 診断年月日 | 病型 | 診断方法(検査法) | 症状 | 推定感染原因 | 備考 |
| 女 | 30代 | 2017年6月11日 | 2017年6月16日 | 2017年6月16日 | デング熱 | ペア血清での IgM抗体の検出 結果:抗体陽転 | 2日以上続く発熱 白血球減少 頭痛、発疹 | 蚊からの感染 | 渡航歴あり (タイ) |

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

| | · 10 · 7 7 7 7 | | 1-741-17 | | | | | | |
|----|----------------------|-----------|-----------|------------|----------|--------------------|------|---------|----|
| 性別 | 年齢 | 発病年月日 | 初診年月日 | 診断年月日 | 病型 | 診断方法(検査法) | 症状 | 推定感染原因 | 備考 |
| 男 | 20代 | 2017年3月頃 | 2017年5月頃 | 2017年6月2日 | 早期顕症梅毒I期 | RPRカードテスト TPHA法 | 硬性下疳 | 異性間性的接触 | |
| 男 | 20代 | 2017年5月初旬 | 2017年6月初旬 | 2017年6月19日 | 早期顕症梅毒I期 | 凝集法 TPHA法 | 硬性下疳 | 異性間性的接触 | |

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症)

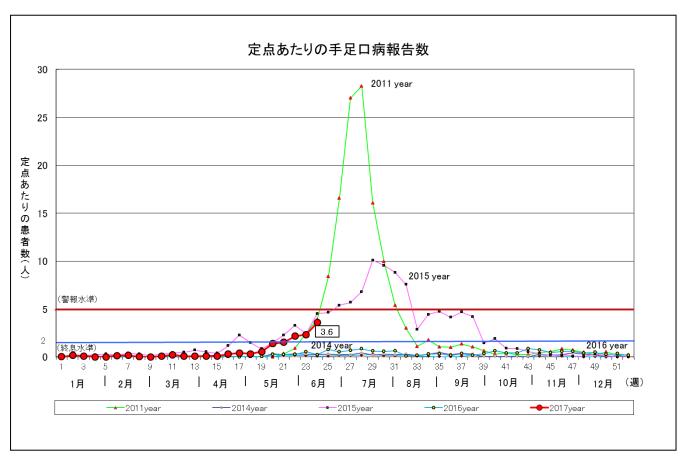
| I | 性別 | 年齢 | 発病年月日 | 初診年月日 | 診断年月日 | 病型 | 診断方法(検査法) | 症状 | 推定感染原因 | 備考 |
|---|----|-----|-----------|-----------|------------|----|----------------|-------|---------|----|
| | 女 | 90代 | 2017年6月7日 | 2017年6月7日 | 2017年6月14日 | - | 尿培養 薬剤耐性の確認 | 尿路感染症 | 以前からの保菌 | |

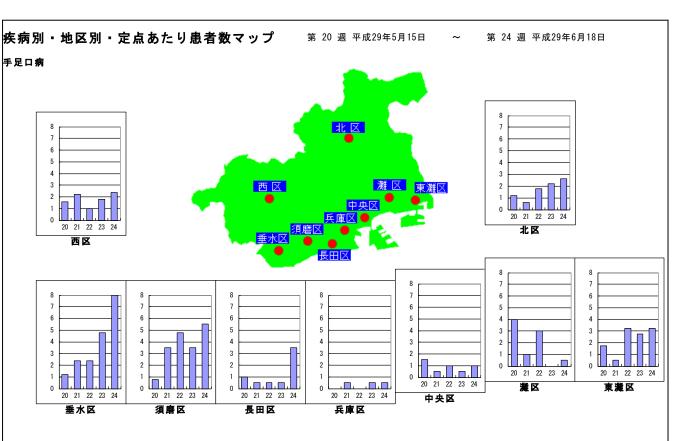
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 クロイツフェルト・ヤコブ病)

| 性別 | 年齢 | 発病年月日 | 初診年月日 | 診断年月日 | 病型 | 診断方法(検査法) | 症状 | 推定感染原因 |
|----|-----|-----------|------------|------------|----------|---|--|--------|
| 女 | 70代 | 2017年5月1日 | 2017年5月16日 | 2017年6月15日 | 弧発性プリオン病 | 臨床症候 検査(脳波、脳MRI) その他(NSE上昇、 髄液総タウ蛋白上昇) | 進行性認知症 ミオクローヌス 錐体路および錐体外路症状 記憶障害、筋強剛 精神・知能障害 | _ |

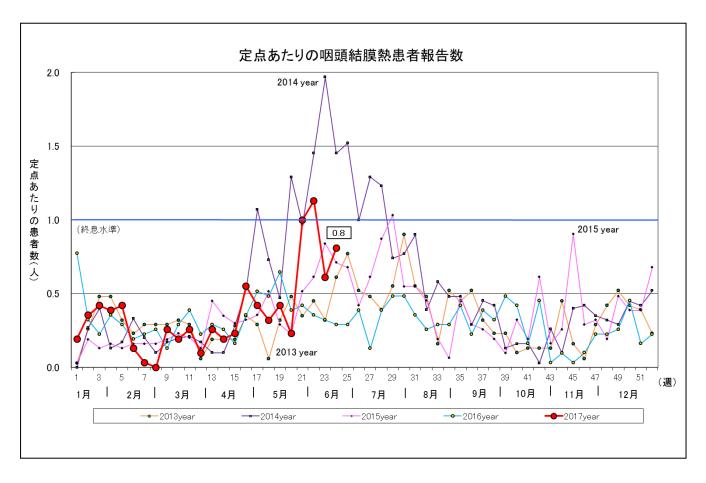
神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

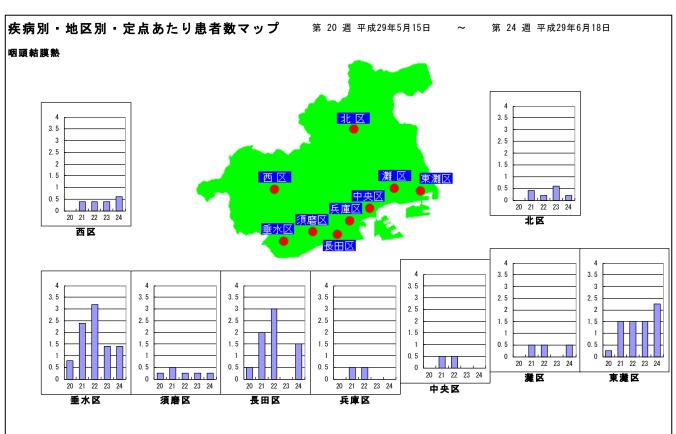
| 病原体 | 検体 | 区 | 状況 |
|----------------|----------------------|----|--|
| コクサッキーウイルスA6型 | 咽頭ぬぐい液 | 東灘 | 11ヶ月男児(6/3採取、38.0℃、手足口病) |
| コンサラヤー・フィルスA0室 | 咽頭ぬぐい液 | 東灘 | 10ヶ月男児(6/5採取、37.3℃、ヘルパンギーナ) |
| エンテロウイルス71型 | 咽頭ぬぐい液 | 中央 | 2歳2ヶ月女児(6/5採取、発熱なし、手足口病) |
| エコーウイルス30型 | 髄液、便 | 中央 | 13歳女性(6/8採取、39℃、無菌性髄膜炎) |
| ムンプスウイルス | 唾液 | 中央 | 9歳6ヶ月男児(6/5採取、発熱なし、唾液腺腫脹) |
| A27A-747WA | 唾液 | 北 | 3歳8ヶ月男児(6/6採取、38℃、唾液腺腫脹) |
| アデノウイルス1型 | 咽頭ぬぐい液 | 東灘 | 1歳5ヶ月男児(5/25採取、41.0℃、咽頭結膜熱、肺炎) |
| アプライルス「全 | 咽頭ぬぐい液 | 中央 | 4歳女児(5/25採取、39.3℃、咽頭結膜熱) |
| アデノウイルス5型 | 咽頭ぬぐい液 | 中央 | 4歳10ヶ月男児(5/24採取、39.0℃、咽頭結膜熱) |
| プランツイルへ3空 | 咽頭ぬぐい液 | 中央 | 4ヶ月男児(5/23採取、39.4℃、上気道炎) |
| 淋菌 | 尿道または 子宮頸管 分泌液 | 西 | 26歳 男性 尿路生殖器症状 検出菌の薬剤感受性試験:PCG(中間感受性)、CFIX、CTRX,AZM(感受性) |



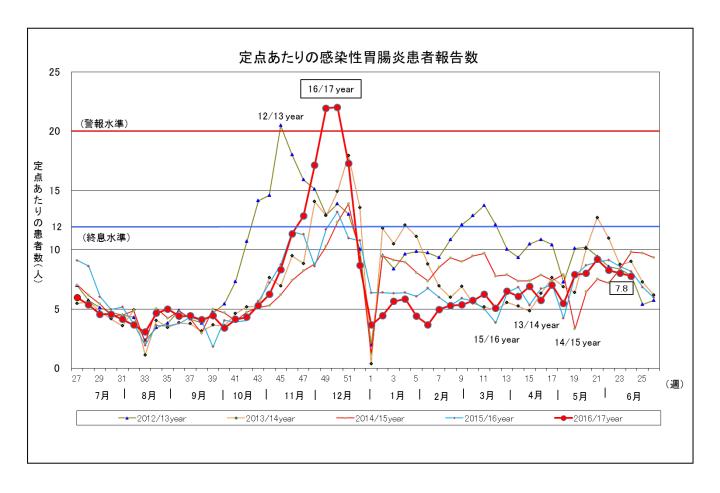


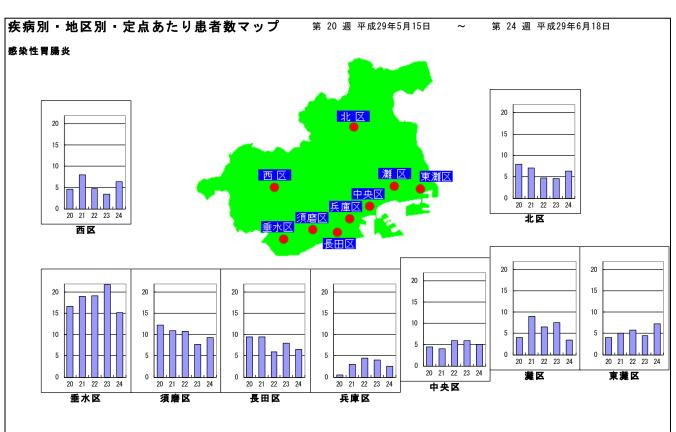
※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は 区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把 握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。





※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は 区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把 握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。





※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は 区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把

握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。